

この記事・写真は岩手日日新聞社の許諾を得て転載しています。

# 「面白い」見つけよう

## 花巻北 社会人が生き方指南

【花巻】NPO法人未来図書館のキャリア教育支援事業「未来パスポート」は15日、花巻市石鳥谷町の県立花北青雲高校（小原和雄校長、生徒495人）で行われた。ビジネス情報科の1、2年生168人が社会人講師から職業観や生き方を学び、将来を考えた。

金融機関や企業の職員、NPO法人のスタッフライターら14人が講師を務め、生徒は2人を選択して20分ずつ講話を聞いた。

盛岡市子ども科学館学芸員の佐々木繁さんは、「小さい子に科学の面白さを伝えるには体験が一番。自分が面白いと感じることを探していること語り、スポーツボールの

弾性を利用したロケットや静電気の実験を披露。子供と接することに魅力を感じたと仕事を選んだ理由を明かした上で「やりたいことがなく



未来パスポートで子ども科学館学芸員の仕事に触れる花北青雲高の生徒

ても何か始めてみると好きなものが見つかるかもしれないと行動することをアドバイスした。大坂修斗君（2年）は

「難しいことでも単純な実験で伝わるのが楽しく、面白い仕事だと思った。考え方の広さを感じたと感想を語った。